

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂 平成18年6月11日

化学物質等のコード : 0104-7352

化学物質等の名称 : アセトンシアンヒドリン

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 毒性物質、刺激性物質
危険性 : 引火しやすい。蒸気は空気と混合して爆発性混合ガスとなる
火気厳禁100 以上に加熱されると引火性の強いシアン化水
素ガスとアセトンを生ずる。
有害性 : 皮膚との接触はきわめて有毒、目、粘膜にも刺激作用があり
有害。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名 : アセトンシアンヒドリン
成分及び含有量 : 99%以上
化学式または構造式 : (CH₃)₂C(OH)CN
分子量 : 85.11
官報公示整理番号(化審法) : 2-1539
構造別分類コード(労安法) :
CAS No. : 75-86-5
日化辞番号 : J1.468K
EINECS No. :
RTECS No. : OD9275000

4.応急処置

目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、眼科医の手当を受
ける。
吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、暖かくして安静を保ち、
呼吸に異常が認められる場合は人工呼吸又は有資格者がい
る場合は酸素吸入を行い、医師の診断を受ける。
皮膚にふれた場合 : 汚染した衣類等は速やかに脱ぎ捨て、触れた部分を水また
は微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸でよく洗い落とし、
医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合 : 医師の救急処置を受ける。大量の牛乳又は水を飲ませるが
無理に吐かせてはいけない。
又意識のない場合には何も与えない。

5.火災時の処置

消火方法 : ・適切な保護具を着用する。
・火災を増大させる危険性があるものを、周囲から速やかに取
り除く。
・関係者以外は安全な場所に退去させる。
・消火活動は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火法
を用いる。
・棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
消火剤 : ・水噴霧
・泡
・粉末
・二酸化炭素

6.漏出時の措置

・風下の人を退避させ、漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以
外の立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除き消火、
用器材を準備する。作業の際には保護具を着用し、風上から作業すること。
・流出した製品が河川等に排出され環境への影響を起ささないように注意する。
大量の水で希釈した場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ
流出しないよう注意する。

- ・乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。
- ・残りは大量の水で洗い流す。
- ・漏出により中毒患者が出たときは安全な場所に移し、衣服を脱がして安静、保温に努め医師の手当を受ける。

7.取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意

吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
蒸気の発散をできるだけ抑え、作業環境を許容濃度以下に保つように努める。
局所排気装置のある場所で取り扱う。
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な取扱をしない。
爆発限界2.2～12.0%、引火しやすい。蒸気は空気と混合して爆発性混合ガスとなる。
100 以上に加熱すると引火性の強いシアン化水素ガスとアセトンを生成する。
火気厳禁で直射日光を避け、熱源から遠ざけること。

保管上の注意

密閉して直射日光を避け冷暗所に保管する。
酸化性物質、有機過酸化物など同一場所に置かない。
危険物の表示をして保管する。

8.暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
許容濃度 ACGIH : 4.7ppm(皮膚) (上限値 STET)
- 設備対策
- ・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。
 - ・取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
- 保護具
- ・状況に応じ、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器等を使用する。

9.物理的及び化学的性質

外観形状特性 : 無色の液体
比重 : 0.92～0.93
沸点 : 82 /23mmHg
溶解度 : 水に可溶

10.安定性及び反応性

引火点 : 78.5
可燃性 : あり
安定性・反応性 : 通常の条件下では安定である。
発火性 : あり
自己反応性・爆発性 : データなし
自己反応性 : データなし
爆発性 : データなし
酸化性 : データなし
吸湿性 : データなし
分解性 : データなし
加熱・燃焼 : データなし
混触等 : データなし
水との接触 : データなし
空気との接触 : データなし

11.有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

急性毒性 : LD50(経口)ラット 18.65mg/kg
亜急性毒性 : データなし
慢性毒性 : データなし
刺激性(皮膚、眼) : 皮膚との接触はきわめて有毒、目、粘膜にも刺激作用がある。13.廃棄上の注意

- ・適切な保護具を着用する。
- ・関係法規や条例に従って処理する。
- ・焼却処理する場合には、アフターバーナー及びスクラパーを備えた焼却炉で焼却する。
- ・空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。
- ・処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

感作性 : データなし
変異原性 : データなし
変異原性(微生物、染色体異常) : データなし
皮膚腐蝕性 : データなし
がん原性 : データなし
生殖毒性 : データなし
催奇形性 : データなし
安全管理上の留意事項 : データなし
その他 : データなし

12.環境影響情報

分解性 : データなし
蓄積性 : データなし
魚毒性 : データなし
その他 : 漏洩・廃棄などの際は、環境に影響を与える危険性があるので、
取扱いに注意する。

13.廃棄上の注意

- ・適切な保護具を着用する。
- ・関係法規や条例に従って処理する。
- ・焼却処理する場合には、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。
- ・空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。
- ・処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14.輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)
輸送に関する国際規制
陸上輸送 : データなし
海上輸送 : データなし
航空輸送 : データなし
国連分類番号 : クラス 6.1
国連番号 : 1541

15.適用法令

労働安全衛生法施行令等の一部改定第18の2別表
第9「名称等を通知すべき有害物」 18
消防法 : 第二条危険物第四類第三石油類水溶性液体。
毒物及び劇物取締法 : 第二条別表、劇物
水質汚濁防止法 : 施行令第二条有害物質

16.その他の情報

参考文献
化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共同出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点における知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。